

2012 年度 JAMS 会員総会議事録

事務局

2012 年 12 月 15 日(土)、立教大学において 2012 年度日本マレーシア学会 (JAMS) の会員総会が行われた。

【議長選出】

西芳実会員が議長に選出された。

【報告事項】

担当の各委員から活動内容に関する報告が行われた。

1. 運営委員長

山本博之運営委員長より、2013 年度に実施予定の会長候補者選挙にさきだち、國谷徹会員を選挙管理委員に指名したことが報告された。

2. 事務局

西芳実事務局長にかわって山本運営委員長により、JAMS が加盟している地域研究コンソーシアム(JCAS)の活動について紹介があった。JAMS は幹事組織として JCAS の運営を担っており、現在の JCAS 会長は JAMS の宮崎恒二会長である。JCAS は、次世代支援や学会連携などの公募プログラムを実施しており、今年度は、JAMS 関東地区のシンポジウム「アジアのディアスポラ文学—日本とマレーシアの交流文学事例から」が学会連携プログラムの助成を受けた。各種公募を含む JCAS の活動は、主要なものは事務局からも案内するが、各会員には JCAS ホームページまたは JCAS メールマガジンを通じて参照していただきたいとの呼びかけがなされた。

総務

山本運営委員長より、今年度はこれまでに会報の No.52 と No.53 を発行し、年度内に No.54 を発行する予定であることが報告された。

会計

坪井祐司委員より、配布資料をもとに 2012 年度の会計中間報告が行われた。

会員情報

篠崎香織委員より以下の報告がなされた。

(1)会員数

2012 年 12 月 14 日の時点で会員数は 198 名である。2011 年度末から入会者が 4 名、退会者が 5 名あった。

(2)権利の停止および除籍

24 名の会員が権利の停止の対象者(2009 年度以降の会費滞納者)となっている。

(3)名簿の発行

年度内に会員名簿を発行する。

ウェブサイト

新井和広委員の報告を山本運営委員長が代読した。各地区活動、関連研究会等のお知らせの掲載を着実に続けていること、会報『JAMS News』の No.51(2011 年度)、No.52、No.53(2012 年度)をウェブサイトに掲載したこと、「The Daily NNA マレーシア版」に毎月掲載されている「知識探訪」の記事を PDF ファイルでウェブサイトに再録したことが報告された。今後も月一回の更新を予定している。

来年度も、研究会等の情報の迅速な掲載、見やすいウェブサイト構築を行う。JAMS ウェブサイトに対するご意見やご要望があれば事務局までお寄せいただきたいとの呼びかけがなされた。

3. 研究連携ウイング

地区活動

(1) 関東地区

舛谷鋭委員より、立教大学池袋キャンパスにて4月から11月まで8月を除く毎月、関東地区例会を開催したこと、10月27日には地域研究コンソーシアム(JCAS)等との共催により、立教大学池袋キャンパス太刀川記念館にて国際シンポジウム「アジアのディアスポラ文学—日本とマレーシアの交流文学事例から」を行ったことが報告された。今年度中は、立教大学池袋キャンパスにて以下の2回の例会を予定している。

- ・1月12日 櫻田涼子(京都大学 GCOE 研究員)
「新聞広告記事から読み解くマレーシア華人社会の変化」
- ・3月2日 小野真由美(早稲田大学アジア太平洋研究センター助手)「マレーシアのロングステイ研究」

(2) 関西地区

山本運営委員長の代読で多和田裕司委員より昨年度と同様に2月ないし3月に研究会を開催すべく準備を進めていること、来年度は、例年通り関西地区研究会を1回開催する予定であることが報告された。

大会

2012年度大会を担当する吉村真子委員より、2012年12月15日(土)、16日(日)に立教大学池袋キャンパスを会場として、舛谷鋭大会準備委員長のもと、2012年度研究大会を開催する運びとなったことが報告された。

連携研究会

山本運営委員長より、連携研究会は JAMS 会員が中心になって組織する研究活動であり、運営方針・予算に関して JAMS から独立して行うもので

あること、連携研究会の登録は一年ごととすること、また、過去1年間に活動が行われていない連携研究会は特に申し入れがある場合に連携研究会を継続するなどが確認された。そのうえで、現在登録されている連携研究会の活動について以下のように報告があった。

・クアラルンプール地区研究会

特に報告する活動は行っていない。

・「ジャウィ文献と社会」研究会(坪井)

坪井会員より、2012年12月1日、2日に地域研究コンソーシアム(JCAS)等との共催により、東京外国語大学にてジャウィ文献講読講習会を実施したことが報告された。

・マレーシア映画文化研究会

篠崎会員より、今年度は下記の二つの一般公開シンポジウムを実施したことが報告された。

第3回ヤスミン・アフマド追悼 京都マレーシア映画文化シンポジウム「栄光は誰れのために—マレーシアの経済発展の裏にある教育」(2012年7月30日、京都大学芝蘭会館)

『外中華』映画の世界—ツァイ・ミンリャンとエドウィンに見る世代の絆」(2012年10月23日、協力:東京国際映画祭)

4. 社会連携ウイング

川端隆史委員より、外務省やマレーシア側との協力のもと、東方政策(ルックイースト政策)に関する共同研究を以下のように行っていることが報告された。

- ・川端会員を代表者として JAMS 会員数名により東方政策研究プロジェクトを組織し、地域研究コンソーシアム(JCAS)社会連携プロジェクト「地域研究と外交実践の連携プロジェクト」(期間:2011~2012年度)として登録した。

- ・2012年5月20日、椿山荘にて日本国際交流協会の主催により「21世紀東アジア青少年大交流計画」2011年度マレーシア東方政策元留学生招へいプログラム“LOOK EAST 30 & BEYOND”対話&成果報告会が行われ、JAMSの協力により吉村会員が講師、川端会員がファシリテーターとして参加した。
- ・2012年6月23日、マレーシアのプトラジャヤで東方政策30周年記念国際シンポジウムが開催され、JAMSからは7名の会員が参加して研究発表を行った。内容は会報『JAMS News』第52号で紹介されている。
- ・2012年10月14日、関西学院大学でアジア政経学会の全国大会が開催され、JAMSの東方政策研究プロジェクトが組織したパネルが分科会として実施された。内容は会報『JAMS News』第52号で紹介されている。
- ・2012年12月15、16日に立教大学で開催されるJAMS研究大会では、2日目に東方政策30周年をテーマとする特別シンポジウムを開催し、外務省からも参加者を招いて東方政策の意義と展望を検討する。

5. 会誌編集委員会

田村慶子編集委員長より以下の報告があった。

- ・2012年度末の刊行をめどに会誌『マレーシア研究』の第2号の編集作業が進められている。
- ・会誌第2号は東方政策30周年に関する特集企画を組む。2012年6月26日付けで会員メーリングリストを通じて会誌『マレーシア研究』第2号の原稿(論説、研究ノート、書評論文、書評)を募集した。締め切りは10月30日で、論説等の投稿があった。
- ・会誌1号の電子版は近々JAMS ホームページに

掲載される予定である。

【審議事項】

1. 議題の追加について

山本運営委員長より、学会細則第13条第3項に基づき、以下の3つの議題を追加することが提案され、承認された。

- ・共同研究の実施について
- ・法人会員(賛助会員)について
- ・マレーシアの学術団体との国際連携について

2. 2011年度の会計報告について

坪井委員より、配布資料に基づいて2011年度の会計報告がなされ、永田淳嗣監査より監査結果が報告され(坪井委員代読)、いずれも承認された。

3. 共同研究の実施について

金子芳樹会員より、京都大学東南アジア研究所公募共同研究として採択された東方政策に関する共同研究「教育・研究交流を通じた東アジアにおける産官学ネットワークの社会的影響の評価—東方政策の30年を振り返って」(代表:金子芳樹、期間:2012~2013年度)をJAMSの活動として行うことが提案され、承認された。

これにあわせて、川端隆史会員より、本共同研究の報告書の作成や2013年3月のマレーシアでのシンポジウムへの参加についてもJAMSの活動として実施することが提案され、承認された。

3. 賛助会員(法人会員)について

鈴木絢女委員より、アイ・イーシーという会社から鈴木会員を通じてビジネスマン向けの通信講

座用教科書のマレーシア紹介に関する章の執筆者紹介の依頼があり、これをJAMSの活動として行うことが提案され、承認された。

これに関連して、山本運営委員長より、学会外部からのこのような協力要請に対しては、法人会員(賛助会員)となってもらうことを検討すること、法人会員(賛助会員)についての規定を検討し、次回会員総会で提示すること、規定が定まるまでの期間は法人会員(賛助会員)の扱いは会長と運営委員会に一任とすることが提案され、承認された。

4. 2013年度の研究大会について

鈴木委員より、2013年度の研究大会は2013年12月14日、15日ごろに開催すること、シンポジウムの企画は2013年がマレーシア結成50周年にあ

たることやマレーシア総選挙が実施される予定であることを踏まえて検討し、会場やシンポジウムの内容は2013年度に入って早い時期に報告することが提案され、承認された。

5. 2013年度の予算案について

坪井委員より、配布資料にもとづき2013年度予算案が提示され、承認された。

6 マレーシアの学術団体との国際連携について

山本運営委員長より、王立アジア協会マレーシア支部(Malaysian Branch of the Royal Asiatic Society、略称MBRAS)との連携を進めることが提案され、承認された。

【ご案内】王立アジア協会マレーシア支部との国際連携について

王立アジア協会マレーシア支部(Malaysian Branch of Royal Asiatic Society、MBRAS)は、マレーシアに拠点を置く国際的な学術団体です。その前身を含めるときわめて長い歴史を持ち、歴史学を中心に、マレーシアの幅広い分野を研究対象としています。年間2号の英文ジャーナルを刊行しているほか、モノグラフ・シリーズなどの刊行も行っています。活動の詳細は同会のウェブサイト(<http://www.mbras.org.my/>)をご覧ください。

これまで同会に加入するには年会費をマレーシアに送金しなければならなかったために国外在住の会員は不便を感じていましたが、このたび、同会では日本のマレーシア研究者との連携をいっそう深めるため、日本に同会の代理人を置き、会費納入などの手続きを簡素化することにしました。これに伴い、上記の会員総会議事録にもありますように、JAMS事務局では同会の会員情報の管理や会費の徴収・送金などの業務を支援することになりました。(ジャーナルの発送や他の出版物の購入等は従来通りマレーシアの事務局を通じて行われます。)

同会に関するお問い合わせや入会申し込みはJAMS事務局までご連絡ください(担当:山本博之)。なお、日本在住の会員の年会費は3500円です(年2号のジャーナル購入代金を含む)。ジャーナルへの投稿などを通じて同会の活動に積極的に関わっていただければと思います。